

平成29年度 第6回 国立大学法人鹿屋体育大学経営協議会議事要旨案

1. 日 時：平成30年1月19日(金) 13時00分～14時00分
2. 場 所：【鹿屋体育大会場】鹿屋体育大学管理棟2階 大会議室
【東京会場】 筑波大学東京キャンパス文京校舎5階 557ゼミ室
3. 出席者：【学内委員】松下、金久、原田、石田の各委員
：【学外委員】上治、岡崎、小館、宮嶋の各委員
4. 列席者 緒方監事、岩重監事、荻田学長補佐、瓜田学長補佐、森学長補佐、竹下学長補佐、前田学長補佐、山田附属図書館長、事務局次長兼教務課長、学生課長、学術図書情報課長、総務課長、財務課長、施設課長、監査室長、総務課副課長、経営戦略課副課長

5. 内 容

(質疑の○は学外委員の発言を、●は学内委員及び学内者の発言を示す。以下同じ。)

議事に先立ち、事務局から会議のスケジュール及び配付資料の確認が行われた。

1) 前回議事要旨確認

平成29年度第4回経営協議会及び第5回経営協議会議事要旨(案)について確定された。

2) 審議事項

(1)平成29年度鹿屋体育大学補正予算(第2次)(案)について(資料3)

石田理事から配付資料に基づき、平成29年度鹿屋体育大学補正予算(第2次)(案)について説明があり、審議の結果、原案のとおり了承された。

(2)平成30年度鹿屋体育大学予算編成方針について(資料4)

石田理事から配付資料に基づき、平成30年度鹿屋体育大学予算編成方針について説明があり、審議の結果、原案のとおり了承された。

○：平成30年度に向けて、新たな外部資金獲得の見通しはあるのか

●：地元企業等から引き続き寄附を頂ける見込みである。新規獲得についても努力したい。

○：新たな企業関係の寄附、できれば鹿児島や九州地区での獲得に向けて努力して欲しい。

(3)国立大学法人鹿屋体育大学役員給与規則等の一部改正について(資料5)

藏田総務課長から配付資料に基づき、国立大学法人鹿屋体育大学役員給与規則等の一部改正について説明があり、審議の結果、原案のとおり了承された。

3) 報告事項

(1)平成30年度鹿屋体育大学運営費交付金等予定額の概要について(資料6)

石田理事から配付資料に基づき、平成30年度鹿屋体育大学運営費交付金等予定額の概要について説明があった。また、併せて平成30年度鹿屋体育大学運営費交付金等予定額について、一部が保留になっている旨説明があった。

(2)平成28年度に係る業務の実績に関する評価の結果について(資料7)

石田理事から配付資料に基づき、平成28年度に係る業務の実績に関する評価の結果について説明があり、本学の評価結果は全て「順調」である旨報告があった。

6. 学内外の諸情勢について

(1)学生の競技成績について(平成29年10月~12月)(資料8)

瓜田学長補佐から配付資料に基づき、学生の競技成績について説明があった。

(2)東京2020 オリンピック・パラリンピック事前キャンプの誘致活動について(資料9)

石田理事から配付資料に基づき、東京2020 オリンピック・パラリンピック事前キャンプの誘致活動について説明があり、スロベニア、台湾及びタイの事前合宿誘致に向けて調整中である旨報告があった。

- ：現在接触している国について、今年度中に調印式等を実施できる見通しはどうか。
- ：今年度中に相手国の現地視察が実施できるかどうかという段階にあるので、調印までは難しいと思われる。
- ：他の国についても、多くの自治体と受入条件について交渉している現状であり、今年のアジア大会頃までに決着するのが望ましいと考えられる。
- ：鹿児島県及び鹿屋市と協力しながら進めたい。
- ：他に鹿児島県が交渉している国はあるのか。
- ：本資料に示した国以外の交渉状況については把握していない。
- ：他県では、県が意欲的に誘致を行っている例もある。鹿児島県全体で1カ国のチームをまとめて受け入れた場合の鹿屋体育大学の役割について考える必要がある。

(3)日本版NCAA KANOYAモデル活動報告について(資料10)

永松財務課長から配付資料に基づき、日本版NCAA KANOYAモデル活動報告について説明があった。

- ：本事業はスポーツ庁の受託事業として実施しているのか。
- ：スポーツ庁の受託事業として実施している。
- ：平成30年度の助成金額はどれくらいか。
- ：文部科学省の予算内示においては大学スポーツ振興関連で1億5千万円程が計上されており、去年の1億円から増額されている。平成30年度分の事業募集はこれからである。
- ：この事業において、鹿屋市に貢献するような構想、方向性はあるのか。
- ：地域と連携して事業に取り組んでいくこととしているが、具体的な計画はこれからである。地域の方々に大学スポーツがどのようなものか知ってもらい、大学について知ってもらうことから始めたいと考えている。
- ：本事業については、鹿屋市とも協力して進める必要があると考えている。

(4)文部科学副大臣の本学視察について(資料11)

石田理事から配付資料に基づき、文部科学副大臣の本学視察について説明があった。

7. その他

(1)平成29年度の経営協議会開催日程について(資料12)

藤田経営戦略課副課長から配付資料に基づき、平成29年度の経営協議会開催日程について説明があった。